

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校					
科目名	中国語		授業形態	演習		
担当教員	楊 旭		履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年	単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1		
実務経験	国際中国語教師資格持ち、長年にわたり多くの会話教室、カルチャーセンター、企業に中国語を教え経験あり					
テキスト	新HSKにチャレンジ！一年生の中国語					
講義の概要	基本的な中国語文法の習得に特に重点を置き、例文までも含めて4級中国語検定の試験とHSK2級範囲に準拠しています。					
講義の展開計画						
第1回	発音(一)		第1回	過去内容のリスニング練習		
第2回	発音(二)		第2回	各種補語復習		
第3回	形容詞述語文、副詞、量詞の使い方		第3回	存在文、“有的” 使い方		
第4回	“有” 構文、名詞述語文、時間言い方		第4回	主述述語文比較文、觉得, 喜欢, 怎么の使い方		
第5回	“在” 構文、介詞“在、給” 方位詞		第5回	HSKリスニング練習、解説		
第6回	連動文、介詞“从” など、助動詞など		第6回	二重目的語、副詞“就、才、只、最		
第7回	過去形“了” 副詞“又、再、还、刚”		第7回	助動詞“得、应该、必须”、受身文、		
第8回	経験を表す“过”、程度補語、動詞重ね型		第8回	使役文、“就要...了” “除了...还” “听说”		
第9回	動作の進行と持続、“是...的” 構文		第9回	“把” “让” 構文、練習		
第10回	能願動詞“能、可以、会”		第10回	総合復習		
第11回	介詞“跟、和、对、向”		第11回	HSK過去問練習、解説		
第12回	期末試験復習		第12回	期末試験復習		
第13回	期末試験復習		第13回	期末試験復習		
履修上の注意	教科書にカタカナで発音を表示しないこと リスニングCDを常に聞くこと。					
試験成績の評価基準	筆記試験80点 出席率と随時テスト20点					

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校					
科目名	接客心理		授業形態	演習		
担当教員	豊田 裕子		履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—		
実務経験	国内大手航空会社客室乗務員。テーブルパーサーとして、国内際10年間乗務、マナーやホスピタリティの講座を実施。またキャリアコンサルタントとして、主に若年層への就職支援の授業やセミナー、厚生労働省主催高校生就職活動支援セミナーなどを実施。国家資格キャリアコンサルタント、キャリアディベロップメントアドバイザー資格保有。					
テキスト	オリジナルテキスト					
講義の概要	お客様に選ばれる人は、何をしているのか？特別なことをしているのか？選ばれる人になるために大切なこととは何か？を、自ら考え行動する基本を学びます。 ※進捗状況によっては変更の可能性があります。					
講義の展開計画						
第1回	オリエンテーション、自己紹介（1分間）					
第2回	ホスピタリティマインド					
第3回	目配り・気配り・心配り					
第4回	リッツカールトンのクレドについて					
第5回	プレゼンテーション①					
第6回	プレゼンテーション②					
第7回	ユニバーサルサービス①					
第8回	ユニバーサルサービス②					
第9回	ユニバーサルサービス③					
第10回	仙台障害者理解サポーター研修					
第11回	クレーム対応①					
第12回	クレーム対応②					
第13回	前期期末試験					
履修上の注意	●提出物は必ず出すこと ●欠席する際は、必ず事前に連絡すること ●必ず返事をする。					
試験成績の評価基準	プレゼンテーション（30点） 筆記試験（50点） 平常点（提出物を含む）（20点）					

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校					
科目名	社会情勢		授業形態	演習		
担当教員	豊田 裕子		履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—		
実務経験	国内大手航空会社客室乗務員。チーフパーサーとして、国内際10年間乗務。マナーやホスピタリティの講座を実施。またキャリアコンサルタントとして、主に若年層への就職支援の授業やセミナー、厚生労働省主催高校生就職活動支援セミナーなどを実施。国家資格キャリアコンサルタント、キャリアディベロップメントアドバイザー資格保有。					
テキスト	オリジナルテキスト					
講義の概要	現代社会の重要な課題や問題について深く理解することを目的とした授業。この授業では、政治、経済、文化、環境、社会問題などの基本をしっかりと理解した上で、社会人になるために、主体的に考え行動できる自分自身の視点を持つことができるようになることを目指す。					
講義の展開計画						
第 1 回	仕事の仕組み		第 1 回			
第 2 回	SDGs ①		第 2 回			
第 3 回	SDGs ②		第 3 回			
第 4 回	SDGs ③		第 4 回			
第 5 回	プレゼンテーション（企業の取り組み）①		第 5 回			
第 6 回	プレゼンテーション（企業の取り組み）②		第 6 回			
第 7 回	情報の仕組み		第 7 回			
第 8 回	多様性・ユニバーサルデザインの仕組み		第 8 回			
第 9 回	お金の問題		第 9 回			
第10回	裁判の仕組み		第10回			
第11回	環境問題		第11回			
第12回	世界遺産		第12回			
第13回	前期期末試験		第13回			
履修上の注意	●提出物は必ず出すこと ●欠席する際は、必ず事前に連絡すること ●必ず返事をする事。					
試験成績の評価基準	プレゼンテーション（30点） 筆記試験（50点） 平常点（提出物を含む）（20点）					

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	料飲サービス			授業形態	演習		
担当教員	今野 則幸			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	仙台市内ホテルにて（レストランサービス、宴会サービス、フロント、営業）、仙台市内リゾートホテル開業準備室、松島リゾートホテル、東京都内ホテル営業経験						
テキスト	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル						
講義の概要	レストランサービス技能検定試験に向けた実技練習を繰り返し行う。						
講義の展開計画							
第 1 回	ブレックファースト・サービス			第 1 回			
第 2 回	ブレックファースト・サービス			第 2 回			
第 3 回	ブレックファースト・サービス			第 3 回			
第 4 回	ブレックファースト・サービス			第 4 回			
第 5 回	ランチ・サービス			第 5 回			
第 6 回	ランチ・サービス			第 6 回			
第 7 回	ランチ・サービス			第 7 回			
第 8 回	ランチ・サービス			第 8 回			
第 9 回	ブレックファースト・サービス			第 9 回			
第10回	ブレックファースト・サービス			第10回			
第11回	実技試験			第11回			
第12回	実技試験			第12回			
第13回	実技試験			第13回			
履修上の注意	出席率80%以上であること。各自のサービス練習以外のときでも、サーバー等の練習を行うこと。						
試験成績の評価基準	平常点20% 実技試験80%						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	就職試験対策			授業形態	演習		
担当教員	菊池 恭子			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	事業所内人事担当経験（採用に関する一連の業務）						
テキスト	・マイナビ2025オフィシャル就活BOOK面接担当者の質問の意図（前年より引き続き使用） ・オリジナルプリント						
講義の概要	1. 就職活動の面接対策をおこなう 2. 就業に向けてビジネスマナーを確認する（面接待機中のプリント課題）						
講義の展開計画							
第 1 回	授業概要について アンケート記入、面接試験の基本について			第 1 回			
第 2 回	個人面談（就活状況確認）			第 2 回			
第 3 回	面接練習（グループ面接）			第 3 回			
第 4 回	面接練習（グループ面接）			第 4 回			
第 5 回	面接練習（グループ面接）			第 5 回			
第 6 回	面接練習（グループ面接）			第 6 回			
第 7 回	面接練習（グループ面接）			第 7 回			
第 8 回	面接練習（個人面接）			第 8 回			
第 9 回	後輩に面接について伝えよう（グループワーク）①			第 9 回			
第10回	後輩に面接について伝えよう（グループワーク）②			第10回			
第11回	後輩に面接について伝えよう（発表）			第11回			
第12回	面接練習（グループ面接）			第12回			
第13回	前期末試験			第13回			
履修上の 注 意	・授業時はリクルートスーツ着用 ・毎授業お辞儀練習、笑顔トレーニング、発声練習実施 ・面接練習待機中は課題に取り組む、記入した課題は毎授業回収し評価の対象とする						
試験成績の 評価基準	平常点20点（身だしなみチェック、お辞儀練習、授業態度） 課題点30点（毎授業内課題） 実技試験50点（グループ面接）						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校					
科目名	レストランサービス技能検定対策			授業形態	演習	
担当教員	今野 則幸			履修年次	2 年	
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目
履修学期	前期		単位数	前期	4	後期
コマ数／週	前期	2	後期	—		—
実務経験	仙台市内ホテルにて（レストランサービス、宴会サービス、フロント、営業）、仙台市内リゾートホテル開業準備室、松島リゾートホテル、東京都内ホテル営業経験					
テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法					
講義の概要	レストランサービス技能検定試験に向けた筆記・実技練習を繰り返し行う。					
講義の展開計画						
第 1 回	2024年HRS筆記試験問題解答			第14回	ブレイクファースト・サービス	
第 2 回	2024年HRS筆記試験問題解説			第15回	ブレイクファースト・サービス	
第 3 回	2024年HRS筆記試験問題解説			第16回	ブレイクファースト・サービス	
第 4 回	2023年HRS筆記試験問題解説			第17回	2020年HRS筆記試験問題解答	
第 5 回	ランチ・サービス			第18回	2020年HRS筆記試験問題解説	
第 6 回	ランチ・サービス			第19回	ランチ・サービス	
第 7 回	ランチ・サービス			第20回	ランチ・サービス	
第 8 回	2022年HRS筆記試験問題解答			第21回	ブレイクファースト・サービス	
第 9 回	2022年HRS筆記試験問題解説			第22回	ブレイクファースト・サービス	
第10回	2021年HRS筆記試験問題解答			第23回	筆記試験	
第11回	2021年HRS筆記試験問題解説			第24回	実技試験	
第12回	ブレイクファースト・サービス			第25回	実技試験	
第13回	ブレイクファースト・サービス			第26回	実技試験	
履修上の注意	各自のサービス練習以外のときでも、サーバー等の練習を行うこと。また、筆記試験対策として、テキストを参照しながら繰り返し復習を行うこと。					
試験成績の評価基準	平常点20% 実技試験80%					

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	総合演習			授業形態	演習		
担当教員	ホテル学科講師			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期	2
コマ数／週	前期	—	後期	1			
実務経験							
テキスト	なし						
講義の概要	2年間の集大成として、各コースで学んだことを一つの形にする（模擬挙式等）						
講義の展開計画							
第 1 回				第 1 回	総合演習の意義・振り返り		
第 2 回				第 2 回	テーマを決める		
第 3 回				第 3 回	スケジュール・役割決め		
第 4 回				第 4 回	会場選択・列席者名簿作成		
第 5 回				第 5 回	進行決め（各コース）		
第 6 回				第 6 回	各種制作・確認		
第 7 回				第 7 回	各種制作・確認		
第 8 回				第 8 回	進行確認		
第 9 回				第 9 回	セクション決め		
第 1 0 回				第 1 0 回	各セクションでの導線確認		
第 1 1 回				第 1 1 回	リハーサル		
第 1 2 回				第 1 2 回	リハーサル		
第 1 3 回				第 1 3 回	後期試験		
履修上の注意							
試験成績の評価基準	出席・積極性・報連相ができているか						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	日本文化			授業形態	演習		
担当教員	ホテル学科講師			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期	4
コマ数／週	前期	—	後期	2			
実務経験							
テキスト	なし						
講義の概要	道・琴・書道を通じて日本文化の「和」の心と美意識を体験的に学び、最終的には自分なりの表現で発信する						
講義の展開計画							
第 1 回	日本文化とは何かを考える			第14回	他者と合奏してみる体験		
第 2 回	四季・礼儀・「和」の精神			第15回	書道の基本・道具の説明		
第 3 回	茶道の歴史と千利休の教え			第16回	筆使いと姿勢・書き初め		
第 4 回	茶道具と茶室の意味			第17回	季節の言葉や俳句を書く		
第 5 回	茶の点て方の基本理論			第18回	個性を生かした表現の練習		
第 6 回	立ち居振る舞いと所作練習			第19回	消しゴムはんこの構想と下絵		
第 7 回	お点前の実践と客の作法			第20回	彫刻と捺印の実技体験		
第 8 回	茶道における季節感の表現			第21回	和風絵葉書の制作と書の融合		
第 9 回	琴の歴史と日本音楽の基礎			第22回	茶道・琴・書をつなぐ「和」		
第10回	琴の構造と音の仕組み			第23回	作品仕上げと展示準備		
第11回	爪の付け方と姿勢を学ぶ			第24回	プレゼンテーションリハーサル		
第12回	音出し練習と簡単な旋律			第25回	作品発表・鑑賞とふりかえり		
第13回	「さくらさくら」を演奏			第26回	後期試験		
履修上の注意	茶道・琴・習字はすべて実技を含みます。動きやすい服装・持ち物の指示に従い、協調性をもって参加してください。継続的な出席が重要です。						
試験成績の評価基準	出席・積極性・報連相ができているか						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	ITスキル			授業形態	演習		
担当教員	菅原 敏夫			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験	仙台市主催の「仙台ITセミナー」でMicrosoft Word/Excelの講師経験あり						
テキスト	①Microsoft PowerPoint 2021 クイックマスター / ②PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験 問題集 ③Microsoft Excel 2021 クイックマスター 基本編 ④2021対応 Excel 表計算処理技能認定試験 3級 問題集						
講義の概要	PowerPointの基本操作と資料作成力を習得し、サーティファイ主催「プレゼンテーション作成検定 初級」の資格取得を目指すとともに、Excelでは基本操作や関数、グラフ、データベース機能を習得し、実用的な活用力を高め、サーティファイ主催「Excel表計算処理技能認定試験3級」の資格取得を目指す。						
講義の展開計画							
第1回	オリエンテーション、PowerPoint 練習問題1			第1回	Excel 練習問題1		
第2回	PowerPoint 練習問題2, 3			第2回	Excel 練習問題2		
第3回	PowerPoint 模擬問題1, 2			第3回	Excel 練習問題3		
第4回	Excel 起動～数式の入力			第4回	Excel 模擬問題1		
第5回	Excel セルの書式設定～印刷範囲の指定			第5回	Excel 模擬問題2		
第6回	Excel グラフの作成～グラフの編集			第6回	Excel 模擬問題3		
第7回	Excel 図形の作成～ワークシートの管理			第7回	Excel 模擬問題4		
第8回	Excel ウィンドウの操作～統計関数			第8回	Excel 模擬問題5		
第9回	Excel 数学 / 三角関数～日付関数			第9回	Excel 模擬問題6		
第10回	Excel リストの作成～テーブル機能			第10回	Excel 模擬問題7		
第11回	Excel 総合学習問題			第11回	Excel 受験プログラム体験用		
第12回	PowerPoint 検定対策			第12回	Excel 期末試験対策		
第13回	前期期末試験			第13回	後期期末試験		
履修上の注意	実習に必要な持ち物(パソコン、テキスト、筆記用具など)を準備すること (忘れた場合は減点対象とする)						
試験成績の評価基準	規定に準じつつ課題の提出状況と平常点を加味し、実技試験との合計点を評価基準とする (評価の割合分配: 平常点20点、課題提出20点、実技試験60点)						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	観光地理			授業形態	演習		
担当教員	佐藤茂樹			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験							
テキスト	①国内観光地理解答付きサブノート(JTB総合研究所) ②オリジナルプリント						
講義の概要	観光地の生成・構造・機能について、国内の観光地を取り上げ講義をする。具体的には、観光地の分布、観光資源、観光産業との関係、観光客の特性、観光地の環境保全や世界遺産などに留意しながら、自然地理的資源、人文地理的資源を利用して誕生・発展した観光地についての理解を深める。						
講義の展開計画							
前期				後期			
第 1 回	日本の国土と学びの振り返り			第 1 回			
第 2 回	九州地方の地理と学びの振り返り			第 2 回			
第 3 回	中国地方の地理と学びの振り返り			第 3 回			
第 4 回	四国地方の地理と学びの振り返り			第 4 回			
第 5 回	関西地方の地理と学びの振り返り			第 5 回			
第 6 回	中部地方の地理と学びの振り返り			第 6 回			
第 7 回	北陸地方の地理と学びの振り返り			第 7 回			
第 8 回	東海地方の地理と学びの振り返り			第 8 回			
第 9 回	関東地方の地理と学びの振り返り			第 9 回			
第10回	東北地方の地理と学びの振り返り			第10回			
第11回	北海道地方の地理と学びの振り返り			第11回			
第12回	地域の地理と学びの振り返り			第12回			
第13回	前期末試験			第13回			
履修上の注意	・事前にテキストを活用した予習を行い、授業に参加します。 ・テキストやPCを忘れた場合は、減点対象になります。						
試験成績の評価基準	・出席、授業態度などの平常点も加味し、定期試験と平常点の合計を評価基準にします。 (評価:定期試験80%、平常20%)						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校							
科目名	手話			授業形態	演習		
担当教員	菅原伸哉・奥山祐子			履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験	菅原伸哉:手話の指導については長年の経験有り。手話での会話を身をつけ、聴覚障害者への理解を深めることで、接待のサービスに活かす。 奥山祐子:手話通訳士として活躍中。						
テキスト	はじめて出会う手話(一般財団法人全日本ろうあ連盟出版)						
講義の概要	手話は日本語とは異なる体系をもつ、ろう者の「目で見える」言語であることを理解し、外国語を学ぶのと同じ姿勢で学習にのぞんでもらう。手の動きに加えて身体や顔の表情を使って表現すること、また手話の技術のみならず、ろう者の文化や生活様式、価値観や習慣なども学習し、接待時の対応に活かす。						
講義の展開計画							
第1回	名前の表し方を覚えましょう(名前を表すいろいろな方法があることを知る)			第1回	自己紹介のまとめ		
第2回	つたえあってみましょう(手の形や動きをよくみて真似る)			第2回	接客手話の基本手話-1(あいさつの手話を覚える)		
第3回	数の表し方を覚えましょう(疑問詞〈いつ〉〈いくつ〉〈いくら〉を使って会話する)			第3回	接客手話の基本手話-2(あいさつの手話を覚える)		
第4回	家族の表し方を覚えましょう(疑問詞〈誰〉を使って会話する)			第4回	接客手話の基本手話-3		
第5回	趣味の表し方を覚えましょう			第5回	接客手話の基本手話-4		
第6回	仕事の表し方を覚えましょう			第6回	旅行のことを話しましょう		
第7回	住所の表し方を覚えましょう(地名の手話や交通手段を学ぶ)			第7回	指文字の表し方を覚えましょう-1		
第8回	読み取ってみましょう			第8回	指文字の表し方を覚えましょう-2		
第9回	自己紹介しましょう			第9回	地名の表し方を覚えましょう-1		
第10回	一日／一ヶ月／一年のことを話しましょう			第10回	地名の表し方を覚えましょう-2		
第11回	パーティのことを話しましょう			第11回	表情を工夫して表現してみましょう		
第12回	旅行のことを話しましょう			第12回	動きや形を工夫して表現してみましょう		
第13回	前期試験			第13回	後期試験		
履修上の 注意	①楽しみながら手話でコミュニケーションをとることで、能力を高めていく。 ②手話で何が話されているか、理解することが重要であり、表現することをあまり強制せず、まずは「見てわかる」ことが当面の目標である。						
試験成績の 評価基準	期末試験・レポート提出・授業態度						

講 義 概 要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	接客英語			授業形態	演習		
担当教員	青沼 美智子			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験	音楽コンクール、スポーツ、航空便就航、姉妹都市交流等各イベント開催ホテルでの英語での接客						
テキスト	ホテルの英会話ハンドブック						
講義の概要	フロント、レストラン業務、電話対応、緊急時の対応等ゲストに寄り添った英語表現が自信を持ってできるようになる						
講義の展開計画							
第 1 回	チェックイン・チェックアウト			第 1 回	ルームサービス		
第 2 回	お部屋への案内と説明・部屋間通話の説明			第 2 回	館内の案内		
第 3 回	観光案内			第 3 回	とっさの対応		
第 4 回	道案内			第 4 回	クロークの対応		
第 5 回	公共交通の便			第 5 回	館外のレストラン予約		
第 6 回	両替・郵便物			第 6 回	天気予報のお知らせ		
第 7 回	宿泊予約の受付（希望を聞く）			第 7 回	観光ルートを提案する		
第 8 回	宿泊予約の受付（予約）			第 8 回	寺と神社の違いの説明		
第 9 回	レストランの予約を受ける			第 9 回	温泉・大浴場の使い方の説明		
第10回	席に案内する			第10回	アメニティーの説明		
第11回	オーダーテイク（和食・洋食）			第11回	お客様のリクエストとホテル側の対応		
第12回	レストランでの会計			第12回	緊急時の対応		
第13回	前期期末試験			第13回	後期期末試験		
履修上の注意	学習した英語表現を繰り返し口頭練習する						
試験成績の評価基準	出席、授業態度等の平常点 20％、定期試験の成績 80％を評価基準とする						

講義概要 (Syllabus)

2024年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	接客英会話			授業形態	演習		
担当教員	Mark T.			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験	I have been a teacher of English in Japan for 24 years. I have a licence to teach English from Cambridge University in the UK.						
テキスト	Hotel and Hospitality English by Mike Seymour. ISBN 978-0-00743198-4 Original materials						
講義の概要	This course will introduce, practice and expand upon various aspects of hotel and wedding hospitality; from Welcoming guests to Checking out.						
講義の展開計画							
第 1 回	Welcoming guests			第 1 回	Weddings		
第 2 回	Welcoming guests with no reservations & 'Dif			第 2 回	In the restaurant 1,2,3		
第 3 回	Looking after guests 1&2			第 3 回	In the restaurant 1,2,3		
第 4 回	Reservation inquiries			第 4 回	Housekeeping		
第 5 回	Reservation changes			第 5 回	Housekeeping problems		
第 6 回	Phone calls to reception			第 6 回	Room services & Guest services		
第 7 回	Communication problems			第 7 回	Reccomendations for places to eat		
第 8 回	Guest problems			第 8 回	Checking out		
第 9 回	At breakfast			第 9 回	Problems checking out		
第10回	At the bar & Complains at the bar			第10回	Speaking test practice		
第11回	Speaking test			第11回	Speaking test		
第12回	Course review			第12回	Course review		
第13回	Test			第13回	Test		
履修上の注意	All students should complete homework after each class. All students should preview and review each lesson. All students should have dictionary and notebook.						
試験成績の評価基準	Grades will be divided into 3 categories; Written Exam 40%, Oral Exam 40% and Class mark 20%.						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	マナー・プロトコール検定対策			授業形態	演習		
担当教員	赤間 智美			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	マナー・プロトコール検定準1級 及び講師養成講座終了						
テキスト	マナー＆プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール検定2級3級問題集						
講義の概要	プロトコールからビジネスマナー、日本のしきたりなどマナー全般について幅広く学び、マナー・プロトコール検定の3級、2級の合格を目指す						
講義の展開計画							
第1回	マナープロトコールの基本 相手を思いやる心			第1回			
第2回	異文化コミュニケーション			第2回			
第3回	プロトコールの決まり（席次、国旗の扱い方）			第3回			
第4回	贈答と手紙のマナー			第4回			
第5回	ビジネスマナー 名刺交換、ビジネスメール			第5回			
第6回	食事のマナー① 和食			第6回			
第7回	食事のマナー② 洋食とお酒			第7回			
第8回	食事のマナー③ 各国料理			第8回			
第9回	日本のしきたり① 結納と結婚			第9回			
第10回	日本のしきたり② 葬儀と法要 通儀礼			第10回			
第11回	日本のしきたり③ 暦と二十四節気 年中行事			第11回			
第12回	パーティーとドレスコード			第12回			
第13回	前期末試験			第13回			
履修上の注意							
試験成績の評価基準	定期試験（80％） 平常点（出席・授業態度・課題提出）20％						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	ブライダルコーディネート技能検定対策			授業形態	演習		
担当教員	及川 紀恵			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期	2
コマ数／週	前期	—	後期	1			
実務経験	ホテル・ゲストハウスにおけるウェディングプランナーの実務、手配業務及びそれに伴う管理業務、婚礼サロンの運営、課内におけるマーケティング業務。コミュニケーション検定上級（サーティファイ認定検定講師）ホテル実務技能検定上級 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーター（第2534号）全日本マナー検定上級						
テキスト	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード						
講義の概要	ブライダルコーディネート技能検定対策						
講義の展開計画							
第 1 回				第 1 回	授業の説明・「結婚とは」		
第 2 回				第 2 回	「ブライダルビジネス」		
第 3 回				第 3 回	「ブライダルの基礎」		
第 4 回				第 4 回	「コーディネート業務」		
第 5 回				第 5 回	「打合せ業務」		
第 6 回				第 6 回	「コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定」 1		
第 7 回				第 7 回	「コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定」 3		
第 8 回				第 8 回	「コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定」 3		
第 9 回				第 9 回	「手配業務」		
第10回				第10回	「当日業務」		
第11回				第11回	模擬テスト		
第12回				第12回	模擬テスト		
第13回				第13回	期末テスト		
履修上の注意	教科書の解説から問題が解けるよう取り組む						
試験成績の評価基準	期末テスト						

講 義 概 要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校					
科目名	コンシェルジュサービス		授業形態	演習		
担当教員	阿部 弘枝		履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科		G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	前期	単位数	前期	2	後期	－
コマ数／週	前期	1	後期	－		
実務経験	ホテル接客部門全般、外客接遇、商品企画、インバウンドセールス＆マーケティングなどを中心に観光業界キャリア20年					
テキスト	自主制作					
講義の概要	そのホテルの印象や格付けの左右に影響を与える職種として、近年特に脚光をあびる業務に着目し、その歴史や魅力、国内外での働き、接客スキルやマインドについて学ぶ。また、実務研修の一環としてグループワークでの課外研究で実務力を養うなど、経験を通じての進路の選択に役立つ授業展開を目指します。					
講義の展開計画						
第 1 回	ホテルキャストの心得（ホテルサービスとは）		第 1 回			
第 2 回	ホテルキャストの心得（接客サービスの条件）		第 2 回			
第 3 回	コンシェルジュの歴史と日本のコンシェルジュ事情		第 3 回			
第 4 回	コンシェルジュサービス業務内容及びホスピタリティー		第 4 回			
第 5 回	コンシェルジュサービ（観光） 演習		第 5 回			
第 6 回	コンシェルジュサービス（アクティビティ）演習		第 6 回			
第 7 回	観光向け関連施設 研究学習①（グループワーク）		第 7 回			
第 8 回	観光向け関連施設 研究学習②（グループワーク）		第 8 回			
第 9 回	観光案内 演習（実務体験で課外授業）		第 9 回			
第10回	観光プラン考案作成－☆グループワーク		第10回			
第11回	観光プラン修正、添削、まとめ－☆グループワーク		第11回			
第12回	コンシェルジュサービス ロールプレイング （グループワークリハーサル		第12回			
第13回	定期考査（グループごとのロールプレイング＆ 筆記試験）		第13回			
履修上の 注 意	講義回数後半のグループワークでは、個人の役割の重要性やチームワークを学びながら、積極的授業参加を望みます					
試験成績の 評価基準	筆記試験50％、グループワークへの取り組み及びコンシェルジュサービスロールプレイング50％					

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園 キヤスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	基礎ゼミⅡ			授業形態	演習		
担当教員	滝上 正太郎			履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		共通科目	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	・キャリアプランからはじめる就職活動 実践！ワークブック						
講義の概要	・クラス主体イベントの企画から運営をし、個性をいかしながら、多角的な視点を身につける。 ・ケーススタディやロールプレイを通じて、社会人の心得、基本となる知識と実践力を養う。						
講義の展開計画							
第1回	オリエンテーション（本講義について・進路調査書作成・検定試験概要説明）			第1回	前期の振り返り・活動状況報告		
第2回	求職票作成 1・2年生交流会企画			第2回	コミュニケーション演習①話す力		
第3回	表現法と情報発信（伝えるということ） 1・2年生交流会企画（グループワーク）			第3回	コミュニケーション演習②聞く力		
第4回	1・2年生交流会企画案発表 発表案をもとに企画（グループワーク）			第4回	コミュニケーション演習③（グループワーク）		
第5回	1・2年生交流会企画 個人面談			第5回	コミュニケーション演習④（グループワーク）		
第6回	インターンシップについてポスター制作（グループワーク） 個人面談			第6回	プレゼンテーション演習①自分でテーマを決めて文章化		
第7回	1・2年生交流会事前準備 個人面談			第7回	プレゼンテーション演習②練習		
第8回	社会人の心得			第8回	プレゼンテーション演習③発表		
第9回	社会人の心得（ケーススタディ）			第9回	プレゼンテーション演習④発表		
第10回	ホテル学科1・2年生交流会			第10回	来客応対・名刺交換（ロールプレイ）		
第11回	社会人の心得（ケーススタディ）			第11回	電話応対・訪問（ロールプレイ）		
第12回	社会人の心得（ケーススタディ）			第12回	クレーム対応（ロールプレイ） 社会人の心得		
第13回	前期期末試験			第13回	後期期末試験		
履修上の注意	自主的な学習姿勢と自己管理能力を表現すること						
試験成績の評価基準	【前期】提出物（グループワーク課題）20点、期末試験60点、平常点20点（出欠状況と受講態度） 【後期】プレゼンテーション40点、期末試験40点、平常点20点（出欠状況と受講態度）						

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	カラーコーディネート			授業形態	演習		
担当教員	島 望			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース ホテルブライダルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	－
コマ数／週	前期	1	後期	－			
実務経験	美容部員経験2年。その後独立し、パーソナルカラーリスト実務と講師業、自宅サロンにてメイクレッスンを共に5年目。						
テキスト	色彩検定公式テキスト 2級編 新配色カード199b						
講義の概要	色彩検定2級を目的とした検定対策授業を実施します。						
講義の展開計画							
第1回	オリエンテーション 色彩3級の振り返り			第1回			
第2回	慣用色名 色のユニバーサルデザイン			第2回			
第3回	光と色			第3回			
第4回	色の表示 色彩心理			第4回			
第5回	色彩調和①			第5回			
第6回	色彩調和②			第6回			
第7回	色彩調和③			第7回			
第8回	配色イメージ ビジュアル			第8回			
第9回	ファッション インテリア			第9回			
第10回	景観色彩			第10回			
第11回	検定・テスト対策			第11回			
第12回	検定・テスト対策			第12回			
第13回	テスト			第13回			
履修上の 注 意	公式テスト、配色カードに加え、のりとハサミも持参すること						
試験成績の 評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、試験と平常点を評価基準とする (評価:定期試験80点、平常点20点)						

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	バンケットサービス			授業形態	演習		
担当教員	今野 則幸			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース	
履修学期	後期		単位数	前期	－	後期	2
コマ数／週	前期	－	後期	1			
実務経験	仙台市内ホテルにて（レストランサービス、宴会サービス、フロント、営業）、仙台市内リゾートホテル開業準備室、松島リゾートホテル、東京都内ホテル営業経験						
テキスト	西洋料理 料飲接客サービス技法						
講義の概要	ホテルにおける宴会部門（一般宴会、ブライダル等）の特長・サービスの知識、及びマーケティングについても学ぶ。						
講義の展開計画							
第 1 回				第 1 回	宴会部門の特長		
第 2 回				第 2 回	宴会の種類		
第 3 回				第 3 回	宴会の種類		
第 4 回				第 4 回	宴会関連業務		
第 5 回				第 5 回	ブライダル（結納）		
第 6 回				第 6 回	ブライダル（挙式）		
第 7 回				第 7 回	ブライダル（披露宴）		
第 8 回				第 8 回	マーケティング（市場調査、分析）		
第 9 回				第 9 回	マーケティング（商品企画、販売促進）		
第10回				第10回	グループワーク（ホテルのクリスマスイベント）		
第11回				第11回	グループワークプレゼンテーション		
第12回				第12回	宴会セールス		
第13回				第13回	筆記試験		
履修上の注意	テキストのほかパワーポイントを使用し授業を行う。ノートを取り、復習及びシラバスを参考に次の授業に備えること。						
試験成績の評価基準	平常点20%、筆記試験80%						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	スタンダードカクテル			授業形態	演習		
担当教員	佐久間 功児			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	(一社) 日本ホテルバーメンス協会 / 現役ホテルバーテンダー / カクテルコンクール全国大会出場						
テキスト	①HBAオフィシャルバーテンダーズブック ②オリジナルプリント						
講義の概要	ホテルバーテンダーに必要な基礎的な知識とスタンダードカクテルを作るための調合技術を学習します。						
講義の展開計画							
第 1 回	◆座学：カクテルを作る道具の種類と名称① ◆実技：バーツールの扱い方			第 1 回			
第 2 回	◆座学：カクテルを作る道具の種類と名称② ◆実技：バーツール＆グラスの扱い方			第 2 回			
第 3 回	◆座学：カクテル調合の基礎知識 ◆実技：「ビルド」「ステア」「シェーク」			第 3 回			
第 4 回	◆座学：お酒の基礎知識① ◆実技：カウンターのセッティング			第 4 回			
第 5 回	◆座学：お酒の基礎知識② 酒類の分類 ◆実技：一連の動きをやってみよう			第 5 回			
第 6 回	◆座学：お酒の基礎知識③ ◆実技：基礎演習とスタンダードカクテル①			第 6 回			
第 7 回	◆座学：お酒の基礎知識④ ◆実技：基礎演習とスタンダードカクテル②			第 7 回			
第 8 回	◆座学：お酒の基礎知識⑤ ◆実技：基礎演習とスタンダードカクテル③			第 8 回			
第 9 回	◆座学：お酒の基礎知識⑥ ◆実技：実技のまとめ 実技試験に向けて			第 9 回			
第10回	「実技試験」と「解説」			第10回			
第11回	◆座学：ソフトドリンクの種類 ◆実技：スタンダードカクテル演習Ⅰ			第11回			
第12回	◆座学：授業のまとめ 期末試験に向けて ◆実技：スタンダードカクテル演習Ⅱ			第12回			
第13回	「筆記試験」と「解説」			第13回			
履修上の注意	テキストを持参してください。座学と実技があります。お酒の試飲はありません。						
試験成績の評価基準	配点：出席率と授業中の態度（20点） / 実技試験（40点） / 筆記試験（40点）の合計 ※授業中の「居眠り」「私語」は減点します。 ※授業中の設問に対する「挙手」または演習中の「積極的な行動」は加点します。 ※筆記試験の出題範囲は、教科書、プリント、授業中の口頭での解説が範囲となります。						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	バーテンダー演習			授業形態	演習		
担当教員	佐久間 功児			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース	
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期	1
コマ数／週	前期	—	後期	1			
実務経験	（一社）日本ホテルバーメンズ協会 / 現役ホテルバーテンダー / カクテルコンクール全国大会出場						
テキスト	①HBAオフィシャルバーテンダーズブック ②オリジナルプリント						
講義の概要	ホテルバーテンダーに必要な基礎的な知識とカクテルを作るための基本的な所作と調合方法を習得。実践的なサービスの演習。スタンダードカクテルからオリジナルカクテルを創作するまでの工程を学習。						
講義の展開計画							
第 1 回	◆基礎演習（復習）			第 1 回			
第 2 回	◆座学：カクテル調合の基礎と応用① サービス演習①			第 2 回			
第 3 回	◆座学：カクテル調合の基礎と応用② サービス演習②			第 3 回			
第 4 回	◆座学：お酒の基礎知識 各論・応用編① サービス演習③			第 4 回			
第 5 回	◆座学：お酒の基礎知識 各論・応用編② サービス演習④			第 5 回			
第 6 回	◆座学：お酒の基礎知識 各論・応用編③ サービス演習⑤			第 6 回			
第 7 回	◆座学：オリジナルカクテルを考えてみよう① 創作意図、テーマ、TPO、対象とするゲスト			第 7 回			
第 8 回	◆座学：オリジナルカクテルを考えてみよう② 材料の調達方法。調合手順、デコレーション。			第 8 回			
第 9 回	「実技試験」と「解説」			第 9 回			
第10回	グループ別ロールプレイング①			第10回			
第11回	グループ別ロールプレイング②			第11回			
第12回	授業のまとめ 期末試験に向けて			第12回			
第13回	期末試験			第13回			
履修上の注意	テキストを持参してください。座学と実技があります。お酒の試飲はありません。						
試験成績の評価基準	配点：出席率と授業中の態度（20点） / 実技試験（40点） / 筆記試験（40点）の合計 ※授業中の「居眠り」「私語」は減点します。 ※授業中の設問に対する「挙手」または演習中の「積極的な行動」は加点します。 ※筆記試験の出題範囲は、教科書、プリント、授業中の口頭での解説が範囲となります。						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	ホスピタリティ			授業形態	演習		
担当教員	熊谷 さえ美			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	－
コマ数／週	前期	1	後期	－			
実務経験	ホテル支配人の実務経験20年。自衛隊や行政でのビジネスマナーホスピタリティ講座7年。海外勤務経験5年。						
テキスト	とのつどプリント配布						
講義の概要	ホスピタリティは様々な業界で求められている。基礎的知識を学びながら思考実践のスキルをアップ						
講義の展開計画							
前期				後期			
第 1 回	ホスピタリティの語源・9人のポジションワーク			第 1 回			
第 2 回	違いから新しい価値を見出す			第 2 回			
第 3 回	世界を100人の村に圧縮してみよう			第 3 回			
第 4 回	傾聴とは・傾聴ワーク			第 4 回			
第 5 回	傾聴の大切さ・傾聴ワーク			第 5 回			
第 6 回	ノンバーバル表現とは			第 6 回			
第 7 回	ステレオタイプ・アンコンシャスバイアス			第 7 回			
第 8 回	クレーム対応・クレームレターを書く			第 8 回			
第 9 回	障害のある方へのコーヒースervice			第 9 回			
第10回	SDGSから考えるホスピタリティ・交流分析・EQ指数			第10回			
第11回	異文化を考える・NASAゲーム・ペーパータワー			第11回			
第12回	リッツカールトンのサービスに見るホスピタリティ			第12回			
第13回	筆記試験			第13回			
履修上の注意	グループワークや演習によってホスピタリティスキルの向上						
試験成績の評価基準	80％期末試験結果 20％授業態度・積極性・想像力・想像力						

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	衣裳概論【和装】			授業形態	演習		
担当教員	向井 房子			履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルブライダルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	ブライダル着付、スタジオ着付歴19年						
テキスト	①きものの基本 ②オリジナルプリント						
講義の概要	着物の基礎知識、和装ブライダルの基礎知識の習得 着付け技術と着物小物の扱い方、マナーの習得						
第1回	基礎知識 (着物、帯の種類と格、下着と小物の役割、補整の必要性)			第1回			
第2回	補整作りとボディ補整			第2回			
第3回	襦袢着付けとたたみ方			第3回			
第4回	基礎知識 (きものの名称、男女の着物の違い織と染め、拾と薄物、素材)			第4回			
第5回	着物の着付け			第5回			
第6回	礼装の着付け			第6回			
第7回	礼装の着付け			第7回			
第8回	礼装の着付け			第8回			
第9回	振袖の着付け			第9回			
第10回	和装婚、婚礼衣装の基礎知識ボディ補整、長襦袢の着付け、掛下、打掛の着付け、文庫結び、たたみ方			第10回			
第11回	和装婚、婚礼衣装の基礎知識ボディ補整、長襦袢の着付け、掛下、打掛の着付け、文庫結び、たたみ方			第11回			
第12回	実技チェック			第12回			
第13回	実技チェック			第13回			
第14回	学科まとめ			第14回			
第15回	学科テスト			第15回			
履修上の注意	テキストは必ず持参						
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点20% 実技試験40% 学科試験40%						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	ヘアメイク			授業形態	演習		
担当教員	竹田 裕美			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルブライダルコース	
履修学期	後期		単位数	前期	—	後期	2
コマ数／週	前期	—	後期	1			
実務経験	美容室勤務・ヘアセット着付け専門店勤務・結婚式場にて前撮りヘアメイク・着付け・美容師免許取得・メイク検定取得・ネイル検定取得						
テキスト							
講義の概要	花嫁ヘアメイクを仕上げれることを目標にヘアとメイクを基礎から学ぶ。対人にヘアメイクができるようになる。						
講義の展開計画							
第 1 回	準備の仕方			第 1 回	立ち方やケープのかけ方		
第 2 回	ヘアセット、ピンの止め方			第 2 回	メイク、スキンケアの仕方		
第 3 回	ヘアセット、ピンの止め方			第 3 回	メイク、ベースメイク		
第 4 回	ヘアセット、ゴムの結び方			第 4 回	メイク、ベースメイク		
第 5 回	ヘアセット、コテの巻き方			第 5 回	メイク、ポイントメイク(アイメイク)		
第 6 回	ヘアセット、コテの巻き方			第 6 回	メイク、ポイントメイク(アイメイク)		
第 7 回	ヘアセット、編み込みの仕方			第 7 回	メイク、ポイントメイク(アイブロー)		
第 8 回	ヘアセット、シニヨンの作り方			第 8 回	メイク、ポイントメイク(チーク・ハイローライ)		
第 9 回	ヘアセット、ヘアアレンジ			第 9 回	メイク、仕上げ		
第10回	模擬挙式に向けて(仮)			第10回	模擬挙式に向けて(仮)		
第11回	模擬挙式に向けて(仮)			第11回	模擬挙式に向けて(仮)		
第12回	模擬挙式に向けて(仮)			第12回	模擬挙式に向けて(仮)		
第13回	期末テスト			第13回	期末テスト		
履修上の注意	配布物、コーム、メイク用品は必ず持参すること。						
試験成績の評価基準	出席、授業態度などの平常点も加味し、実技試験と平常点の合計を評価基準とする。						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	トータルプロデュース			授業形態	演習		
担当教員	ホテル学科講師			履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルブライダルコース	
履修学期	後期		単位数	前期	－	後期	2
コマ数／週	前期	－	後期	1			
実務経験							
テキスト	なし						
講義の概要	ブライダルに関わる専門職について学ぶ						
講義の展開計画							
第1回				第1回	トータルプロデュースとはⅠ		
第2回				第2回	トータルプロデュースとはⅡ		
第3回				第3回	ブライダル装花		
第4回				第4回	ブライダル装花		
第5回				第5回	ブライダル写真		
第6回				第6回	ブライダル写真		
第7回				第7回	ブライダル演出		
第8回				第8回	ブライダル演出		
第9回				第9回	ブライダルムービー		
第10回				第10回	ブライダルムービー		
第11回				第11回	ブライダル音響		
第12回				第12回	ブライダル音響		
第13回				第13回	後期試験		
履修上の注意	外部講師による講義						
試験成績の評価基準	出席・授業態度・積極性						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	ブライダルセールス			授業形態	演習		
担当教員	及川 紀恵			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルブライダルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	ホテル・ゲストハウスにおけるウェディングプランナーの実務、手配業務及びそれに伴う管理業務、婚礼サロンの運営、課内におけるマーケティング業務。コミュニケーション検定上級（サーティファイ認定検定講師）ホテル実務技能検定上級 BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会認定ブライダルコーディネーター（第2534号）全日本マナー検定上級						
テキスト	オリジナルプリント						
講義の概要	婚礼マーケティングをリサーチし、商品開発、販売ツールを作成する						
講義の展開計画							
第 1 回	授業の説明・式場のスペックを設定する			第 1 回			
第 2 回	プランを企画する I			第 2 回			
第 3 回	プランを企画する II			第 3 回			
第 4 回	プランの販売ツール開発 I			第 4 回			
第 5 回	プランの販売ツール開発 II			第 5 回			
第 6 回	プランの販売ツール開発 III			第 6 回			
第 7 回	ブライダルにおける販売ツール			第 7 回			
第 8 回	ゼクシィ紙面を企画する I			第 8 回			
第 9 回	ゼクシィ紙面を企画する II			第 9 回			
第10回	ゼクシィ紙面を企画する III			第10回			
第11回	ゼクシィ紙面を企画する IV			第11回			
第12回	ゼクシィ紙面を企画する V			第12回			
第13回	プレゼンテーション			第13回			
履修上の注意	自発的なスケジュール管理・取り組み						
試験成績の評価基準	パフォーマンス・プレゼンテーション・提出物（80）取り組み姿勢（20）						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	アナウンストレーニング			授業形態	演習		
担当教員	赤間 智美			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		ホテルブライダルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験	民放ラジオ局にアナウンサーとして勤務						
テキスト	なし 適宜資料等をプリントで配布						
講義の概要	1年のときに履修した基本の発音・発声の基礎を元により実践的なアナウンスのトレーニングを行う						
講義の展開計画							
第1回	基本の発音・発音・滑舌の練習			第1回			
第2回	「外郎売」の意味と背景を知る			第2回			
第3回	お知らせを読む 読みやすい原稿を書く練習			第3回			
第4回	司会者の基本と心得			第4回			
第5回	ブライダルの進行表の作り方			第5回			
第6回	司会打ち合わせの進め方			第6回			
第7回	結婚式にふさわしい言葉・不適切な言葉			第7回			
第8回	ブライダルMC ① 式典の進行			第8回			
第9回	ブライダルMC ② 効果的な盛り上げ方			第9回			
第10回	ブライダルMC ③ 演出とアドリブ			第10回			
第11回	ブライダルMC ④ 感動的に盛り上げる工夫			第11回			
第12回	友人代表のスピーチ			第12回			
第13回	前期末試験			第13回			
履修上の注意	毎回、授業の冒頭で発声練習をする。						
試験成績の評価基準	期末試験の実技課題 80% 平常点（授業態度・出席率） 20%						

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	TOEIC (1)			授業形態	演習		
担当教員	木川 かやの			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		国際ホテルコース	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	①Best Practice for the TOEIC LBest Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~						
講義の概要	全分野の復習から実践問題へと進んでいきます。各問題の攻略法。単語テスト。模擬テスト、IPテスト実施。各自の就職先が必要とするTOEICのスコアを目指して行きます。						
講義の展開計画							
第 1 回	個人面談 今後の授業の説明			第14回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 1		
第 2 回	単語テスト Part1解答の攻略法と実践問題			第15回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 2		
第 3 回	単語テスト Part1解答の攻略法と実践問題			第16回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 3		
第 4 回	単語テスト 模擬試験			第17回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 4		
第 5 回	単語テスト 模擬試験 解説			第18回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 5		
第 6 回	単語テスト Part2解答の攻略法と実践問題			第19回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 6		
第 7 回	単語テスト Part2解答の攻略法と実践問題			第20回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 7		
第 8 回	単語テスト Part3解答の攻略法と実践問題			第21回	単語テスト 模擬試験		
第 9 回	単語テスト Part3解答の攻略法と実践問題			第22回	単語テスト 模擬試験 解説		
第10回	単語テスト Part4解答の攻略法と実践問題			第23回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 8		
第11回	単語テスト Part4解答の攻略法と実践問題			第24回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit 9		
第12回	単語テストまとめと実践問題			第25回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~・Unit10		
第13回	前期期末試験			第26回	後期期末試験		
履修上の注意	テキスト、英語辞書持参必須。 模擬テストは授業内で実施（5月&11月）。						
試験成績の評価基準	平常点20点、筆記試験80点。						

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	TOEIC (2)			授業形態	演習		
担当教員	木川 かやの			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		国際ホテルコース	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験							
テキスト	①Best Practice for the TOEIC LBest Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~						
講義の概要	全分野の復習から実践問題へと進んでいきます。各問題の攻略法。模擬テスト、IPテスト実施。各自の就職先が必要とするTOEICのスコアを目指して行きます。						
講義の展開計画							
第 1 回	品詞			第14回	比較級		
第 2 回	動詞 文型			第15回	関係代名詞		
第 3 回	文型 時制			第16回	関係代名詞		
第 4 回	単語テスト 模擬試験			第17回	関係代名詞		
第 5 回	単語テスト 模擬試験 解説			第18回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~		
第 6 回	時制			第19回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~		
第 7 回	不定詞			第20回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~		
第 8 回	動名詞			第21回	単語テスト 模擬試験		
第 9 回	分詞			第22回	単語テスト 模擬試験 解説		
第10回	仮定法			第23回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~		
第11回	仮定法			第24回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~		
第12回	まとめと実践問題			第25回	単語テスト Best Practice for the TOEIC L&R Test ~Intermediate~		
第13回	前期期末試験			第26回	後期期末試験		
履修上の注意	テキスト、英語辞書持参必須。 模擬テストは授業内で実施（5月&11月）。						
試験成績の評価基準	平常点20点、筆記試験80点。						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	TOEIC (3)			授業形態	演習		
担当教員	近江 貞子			履修年次	2 年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		国際ホテルコース	
履修学期	前期		単位数	前期	2	後期	—
コマ数／週	前期	1	後期	—			
実務経験							
テキスト	公式TOEIC L & R Part 7 速読演習						
講義の概要	TOEICのReading の中で特に Part 7を得点源にするために、様々な速読のポイントを学修しながら実践練習につなげていきます。長文は読み慣れないと時間がかかりますが、長文が早く読めて、苦痛でなくなる方法を学んでいきましょう。また就活に際し、英語の面接に備えてスピーチも取り入れていきます。						
講義の展開計画							
第 1 回	Orientation: 基本文法(品詞と文型)の確認			第 1 回			
第 2 回	Chapter 1:速読のための基礎トレーニング 厳選フレーズ200 ①; speech			第 2 回			
第 3 回	Chapter 2: Unit 1 広告・案内 厳選フレーズ200 ② ; speech			第 3 回			
第 4 回	Chapter 2: Unit 2 お知らせ 厳選フレーズ200 ③; speech			第 4 回			
第 5 回	Chapter 2: Unit 3 Eメール・手紙(個人宛) 厳選フレーズ200 ④; speech			第 5 回			
第 6 回	Chapter 2: Unit 4 Eメール(グループ宛て) 厳選フレーズ200 ⑤ ; speech			第 6 回			
第 7 回	Chapter 2: Unit 5 連絡メモ 厳選フレーズ200 ⑥ ; speech			第 7 回			
第 8 回	Chapter 2: Unit 6 オンラインチャット 厳選フレーズ200 ⑦; speech			第 8 回			
第 9 回	Chapter 2: Unit 7 記事 厳選フレーズ200 ⑧; speech			第 9 回			
第10回	Chapter 2: Unit 8 2文書の問題 厳選フレーズ200 ⑨; speech			第10回			
第11回	Chapter 2: Unit 9 3文書の問題 厳選フレーズ200 ⑩; speech			第11回			
第12回	実践問題 ; Review all, Q & A			第12回			
第13回	期末試験・解説			第13回			
履修上の 注 意	上記は進捗状況に合わせて変更もあり得ます。適宜実践問題形式のレベル別のMini Testを行います。Textはやりっぱなしではなく必ず何回も復習してください。質問があればいつでも質問し、分からないままにしておかないようにお願いします。						
試験成績の 評価基準	筆記試験 80%、平常点（宿題・授業への貢献・課題提出等）20%						

講義概要 (Syllabus)

2025年度

学校名	日本国際学園大学キャスウェル外語エアライン・ホテル＆ブライダル専門学校						
科目名	Global Communication			授業形態	演習		
担当教員	Jessica.R			履修年次	2年		
担当学科	ホテル学科			G、クラスまたは専攻		国際ホテルコース	
履修学期	通年		単位数	前期	2	後期	2
コマ数／週	前期	1	後期	1			
実務経験	I studied art history and international languages and cultures (concentration in Mandarin Chinese and French) at St. Mary' s College of Maryland and received my Master' s of Arts degree in Language Sciences from Tohoku University. I hold a certification in Teaching English to Speakers of other Languages (TESOL) from Arizona State University.						
テキスト	Pearson Longman - On the Go						
講義の概要	Students will learn skills for communication in English through theme based lessons. Students will learn useful vocabulary, grammar, and expressions for travel overseas to English speaking nations for interacting with English speakers in Japan.						
講義の展開計画							
第1回	Class Introductions Review Units 0 - 3			第1回	Unit 9 - Bargain Hunting (part 1)		
第2回	Unit 4 - Out and About in LA (Part 1)			第2回	Unit 9 - Bargain Hunting (part 2)		
第3回	Unit 4 - Out and About in LA (Part 2)			第3回	Unit 10 - Checking In		
第4回	Review Plus 1			第4回	Unit 11 - A Day Tour		
第5回	Unit 5 - Dining Out (Part 1)			第5回	Unit 12 - Two Lattes and a Chat		
第6回	Unit 5 - Dining Out (Part 2)			第6回	Review Plus 3		
第7回	Unit 6 - Surf's Up (Part 1)			第7回	Unit 13 - Temples, Tours, and Treks		
第8回	Unit 6 - Surf's Up (Part 2)			第8回	Unit 14 - Out on the Town		
第9回	Unit 7 - Getting Around Town			第9回	Unit 15 - Tell Me About Your Country		
第10回	Unit 8 - The Grand Hotel			第10回	Unit 16 - Keep in Touch		
第11回	Review Plus 2			第11回	Review Plus 4		
第12回	Midterm Exam Review			第12回	Final Exam Review		
第13回	Midterm Exam			第13回	Final Exam		
履修上の注意	In order to pass the class, students need to attend at least 10 out of 13 classes (75%) and achieve a total score of 60% or higher.						
試験成績の評価基準	The class score will be as follows: Class marks/behavior - 20 points (20%) Assignments (x2) - 40 points (40%) Written Examination - 40 points (40%)						